



平成19年5月25日

「九州遺産観光セミナー」及び「九州遺産学習塾」の実施報告について ～ 平成18年度は3回実施しました ～

九州運輸局がこれまでに取りまとめた「九州遺産（近現代遺産編101）」や「九州遺産（ひと物語編）」にありますように、九州には知られざる観光資源となり得る「良き素材」が数多く残されています。

多くの人々を魅了し、観光の対象となり得る九州の素材にあらゆる角度からアプローチし、その現況や魅力を広く皆様に紹介するとともに、九州遺産を活かした地域づくり、観光に有効な活用方法や現状での課題を解決するための方策などを資料、映像等で紹介するセミナーを18年度は2回開催しました。

また、価値のある「近代化遺産」を未来へ受け継ぎ、地域の活力づくりに活かすためには専門家や学者、自治体の人々だけでなく、一般市民の理解と協力が不可欠です。このため、「よりわかりやすく」「より感動的に」「心をこめて」近代化遺産の意義や価値を読み解く学習塾も1回実施しましたので、併せてその報告を別紙1、2のとおりさせていただきます。

九州運輸局では、セミナー会場として遺産施設を活用し、また、開催時間・曜日等を変えることにより参加者層の範囲を広げる等の工夫もしてみました。

さらに、地元開催することにより、地域の方が認識を新たにしているなどの声も出ています。

本年度もこうした九州遺産を活用したセミナーや学習塾を各地において開催したいと考えております。

詳細が決まりしだいお知らせ致します。

連絡先	九州運輸局企画観光部観光地域振興課
	担当：押井・麦谷
	電話：092-472-2920

開催の概要

別紙1

九州遺産観光セミナー

セミナー形式で九州の観光素材を画像や資料で紹介しました。
個々の魅力について分野ごとに専門家などがわかりやすく説明いたしました。
観光・交通運輸に関わる企業、行政、一般の皆様の参加を対象としました。

第1回 九州遺産観光セミナー

日時 平成19年1月24日(水)13:00~15:30
場所 福岡県大牟田市「旧三井港倶楽部」
参加者数 47名



テーマ「九州の魅力ある観光素材」
講義 「九州各地の近代化遺産」 講師 砂田光紀
講義 「九州の治水遺産ー熊本県を中心に」 講師 幸田亮一
特別解説 「三井港倶楽部保存活用への歩み」 講師 城崎義之助
講義 「三池炭坑の遺産について」 講師 永吉 守
ディスカッション 「私の推薦する素晴らしい九州の遺産」コーディネーター 砂田光紀

第2回 九州遺産観光セミナー

日時 平成19年2月20日(火)17:30~20:30
場所 鹿児島県鹿児島市「仙巖園 尚古集成館」
参加者数 47名



テーマ「九州におけるヘリテージ・ツーリズムの未来」
講義 「近代化遺産と背景にある物語を観光に活かす」
講義 「九州の民族伝承を観光に活かす」 講師 島津公保
ディスカッション 「九州の遺産を活かすツーリズム」 講師 下野敏見
特別解説 「歴史の旅を10倍素晴らしくする方法」 コーディネーター 砂田光紀
講師 田村省三

九州遺産学習塾（近代化遺産をめぐる特別講座）

誰にでもわかりやすく、知ることが楽しくなる「近代化遺産の教室」方式。
主に、親子連れ、あるいは子どもたち同士（小学校高学年以上）の参加を対象として取り
組みました。

第1回 九州遺産学習塾「九州の鉄道教室編」

日時 平成19年3月25日(日)13:30~16:00
場所 福岡県福岡市中央区「よみうりプラザ」
参加者数 75名

テーマ「スイッチバックから新幹線まで
九州の鉄道と遺産をめぐる」

ホームルーム

1時限目 講義 「君も今日から鉄道博士」映像で
見る九州の鉄道と遺産 講師 砂田光紀
2時限目 講義 ぼくは「つばめ」のデザイナー 講師 水戸岡鋭治
3時限目 特別上映 「九州新幹線つばめのできるまで」
実技 「君も列車のデザイナー」列車をデザインしてみよう
指導 水戸岡鋭治





講師・参加者の意見

別紙2

【講師からの意見】

- ・感動的な産業遺産をもっと多くの人に知ってほしい。
- ・九州各地が連携して保存にアピールすべきだ。
- ・産業遺産を未来へ受け継ぎ、地域の活力づくりに活かすためには専門家や学者、自治体の人々だけでなく、一般市民の理解と協力が不可欠。
- ・民俗文化やお祭りなどの行事も観光振興の助けになる。
- ・鉄道に関連する感動的な産業遺産をもっと多くの人に知ってほしい。また、こうした遺産等が年々取壊されて消えていっていることも知ってほしい。

【参加者からの声】

- ・住んでいるところをもっと知りたくて、歴史に興味があったので参加した。
- ・九州には観光地化されていない所がいっぱいあることを知った。
- ・伝承遺産について若い方が熱心に活動していることに感激した。
- ・遺産を保存し活かすため、色々な視点からの話があり、保存する難しさ、努力する人に頭が下がった。
- ・運輸局の主催でこの様な取り組みがなされていることに感動した。
- ・各層の方々、それぞれの立場で遺産活用に取り組まれていることを知ることができて大変参考になった。
- ・短時間のセミナーとしては豊富な内容であった。関係各位のご尽力に感謝の意を表したい。マスコミなどにも啓発報道を図っていけるのか。
- ・講義の時間が短くて残念、的を絞ってもう少し掘り下げた講義がほしかった。
- ・どう活用するのか、どんな組織で運営したらよいのかなど具体例を聞きたかった。